

小諸ぷらいと通信

編集・発行 小泉としひろ後援会事務所 〒384-0808 小諸市御影新田 2529-1 TEL0267-23-8788



持続可能なまちであり 続けるための挑戦

小諸市長 小泉 俊博

令和2年の幕が開け、私の市長としての政治活動も丸4年を迎えることになりました。お陰様でこのような重責に就かせていただき仕事ができるのも、多くの市民の皆様のご支援ご協力をいただけるからであり、心から感謝申し上げます。

さて、令和元年は災害に見舞われた年でした。十月に発生した台風19号の被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。皆様が一日も早く元の生活に戻れますよう、小諸市としましても引き続き全力で被災箇所の復旧作業を進めてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

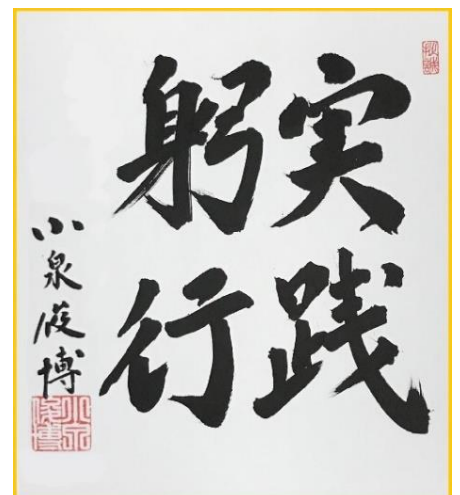
十一月二十五日の十二月議会定例会の召集の挨拶で来期に向けた決意表明をいたしました。その中で私はこれからの小諸市の課題と心構えとして次の様に申し上げます。

「これまで以上に厳しさを増す地方財政、少子高齢化・人口減少の進行、それぞれの地域の特性を活かしたバランスの良い発展、安全安心のまちづくりのための防災体制の構築など小諸市を取り巻く環境には課題も多くあります。

特に人口減少問題は、全国的な課題でもありますが、待ったなしの問題です。

幸いにして小諸市は自然環境にも恵まれ、首都圏に近い地の利があり、これまで歴代の市政で取り組んできた子育て施策、さらに歴史やそれに裏付けられた文化芸術活動、自然災害に強いといわれる土地柄など多くの財産があります。これらを最大限活かし、小諸市でなければできない、小諸市だからこそ選ばれるということ意識した市政運営を展開することで、人口減少問題に果敢に挑戦し、小諸市が持続可能なまちであり続けるための礎を構築して参りたいと思います。

時代は平成から令和に変わりました。『厳しい寒さの後に、春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人一人が



明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる。そんな時代にしたい』との願いで決まった元号です。

『小諸市は、市章が梅で、教育の基本が梅花教育であることなど梅に縁があることから、いよいよ令和は小諸の時代だ!』と激励してくださいる市民もいらつしやいます。私は『令和は小諸の時代!』を体現すべく、市民の先頭に立ち、重責を果たして参る所存でございます。

私の座右の銘である『実践躬行(じっせんきゅうこう)』すなわち『口先だけではなく、自分で言ったことは、身をもってしっかりと実行する』の言葉をこれからもしっかりと胸に刻み、市政運営に取り組んで参る所存であります。』

今後の市政の運営も初心を忘れず粉骨碎身取り組んで参ります。本年も引き続きのご指導、ご支援をお願い申し上げます。



台風 19 号の被災地を視察



災害対応のため総務省に要望活動



しなの鉄道へ代替輸送に関する要望活動



公民共同企業体に上水道事業の一部を業務委託



旧脇本陣を「旅籠 桑屋」に改装オープン



中部横断自動車道経済懇談会にて



浅間山火山砂防促進期成同盟会を設立



小泉市政の4年目を振り返る



女性が活躍する社会を目指して女性会議を開催



NPO 本途人舎に図書館運営業務の一部を委託



東海大学スポーツ医科学研究所と協定調印



市長のトークサロンでのコマ



軽井沢にてテレワーク・シンポジウム



フランスのワイン醸造家との交流会



県企業局主催の水道シンポジウムでパネラー